

# 広島市植物公園 見どころ案内

2024年1月20日  
通巻第608号

今週の  
見どころ案内  
掲載植物

現場にはこの表示  
がしてあります。

## 展示会のご案内

①展示資料館 (1/13~2/12)

植物写真コンテスト作品展

②展示温室 (1/6~2/4)

冬の鉢花展

## クロマツの雪吊り

雪に備えて、日本庭園のクロマツに雪吊り<sup>しつら</sup>を設けています。冬の風物詩をお楽しみください。

## カランコエ ‘ちゅららイエロー’

(ベンケイソウ科)

沖縄での切り花生産の目的で絶滅危惧種リュウキュウベンケイを親に作られた園芸品種。花持ちがよく、長く伸びる茎が特徴です。

## アンブレカム セスキペダレ

(ラン科)

マダガスカル原産。ダーウィンのランとも呼ばれ、花の奥に伸びた長い筒(距きよ)が特徴です。この花の蜜を吸うキサントパンスズメガは長い口吻(こうぶん)を持っています。

## オオバナソシンカ

(マメ科)

中国南部(香港)原産。ホンコンオーキッドツリーとも呼ばれ、現地の通貨や旗にも描かれています。

## アイスチューリップ (ユリ科)

球根を夏場に冷蔵処理して、開花時期を早めたチューリップ。

## ウメ ‘八重寒紅’ (バラ科)

野梅系のウメの中では最も赤色が濃い八重咲き品種。早咲きで、近くの冬至梅と同時期に咲き始めました。

## 麦の芽生え (イネ科)

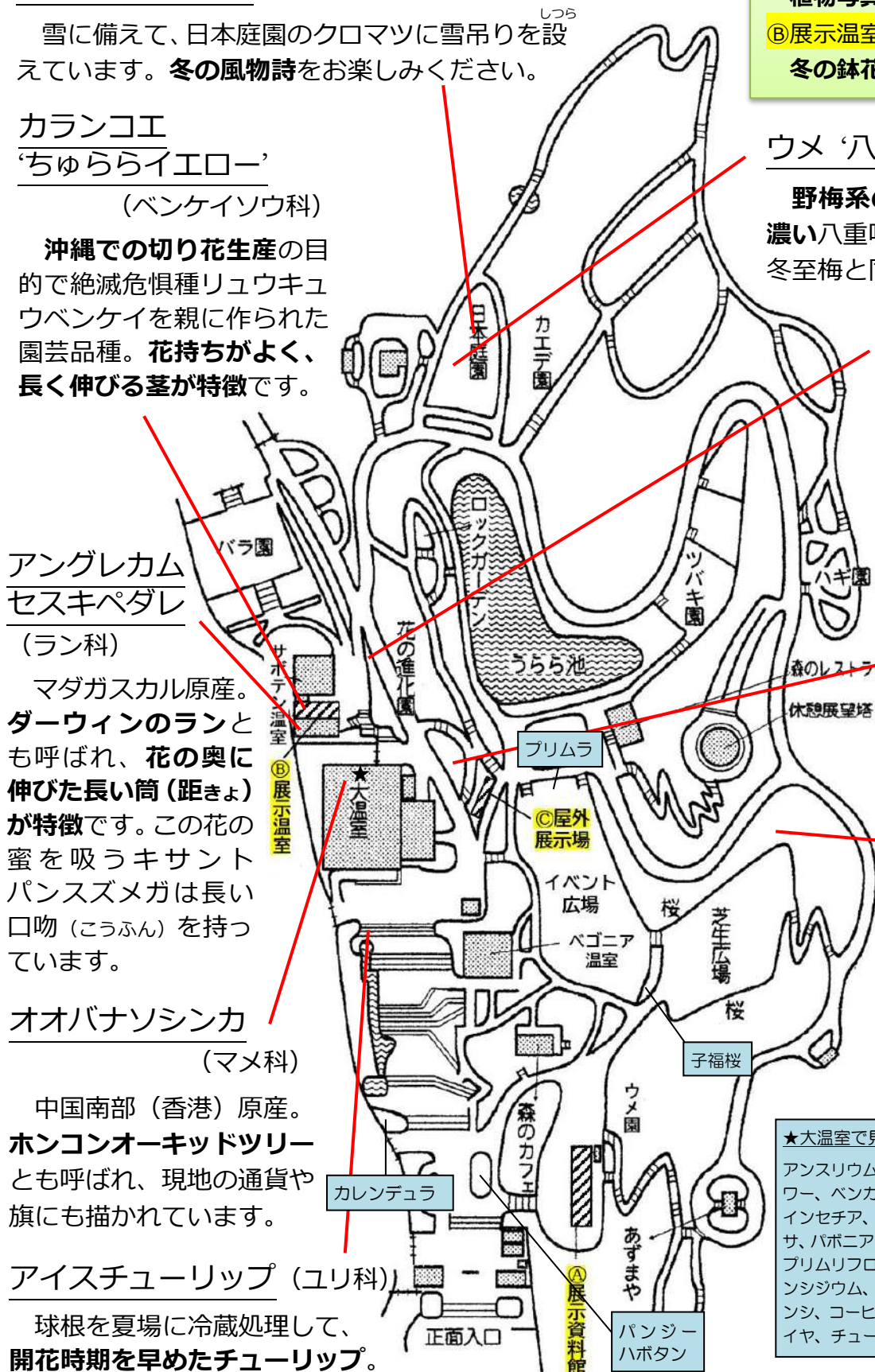
水田の裏作として麦を作ることが少なくなり、近頃はあまり見られない光景です。この時期に「麦踏み」をすることで、根張りがよくなり、しっかりと育ちます。

## ハナナ (アブラナ科)

「菜の花」の名で知られる、早春を代表する植物。

## ロウバイ (ロウバイ科)

漢字で書くと「蠟梅」ですが、梅のなかまではありません。花の大きなソシンロウバイは園芸品種。隣ではシナマンサクも咲き始めました。



### ★大温室で見頃の花・果実

アンズリウム、アマゾンリリー、クリナム、スネールフラワー、ベンガルヤハズカズラ、ジャスミン ‘花美人’、ポインセチア、カリアンドラ、ブーゲンビリア、ルリハナガサ、パボニア・グレヒリー、クロデンドルム、モノレナ・プリムリフロラ、ラン各種(コショウラン、カトシヤ、オンシジウム、パンダ)、[コショウ、ソーセイジノキ、ゴレンシ、コーヒーノキ、ホワイトサボテ、バナナ各種、パパイヤ、チューインガムノキ、パンノキ(以上は果実)]

❖ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❖  
❖ 1月23日(火)、2月3日(土) 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❖